

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	感染対策により、面会や外出の機会が減り、馴染みの人や場所との関りが難しくなっている。	感染対策をした上で、面会の配慮、外出機会の対応を心がける。	面会時には、対面、窓越し、Web等、どの場合においても、本人、面会者が満足できるよう、配慮をする。 外出の際には、個別の対応も取り入れ、ご本人に喜んでもらえるよう、配慮をする。	6 ヶ月
2	33	体調不良や心身状況の変化により、医療依存度が高まった場合の判断、対応が難しい場合がある。 内科的な病気の心配が出てきて、かかりつけ医の変更が必要な方が増えてきている。	異常の早期発見、早期対応により、心身の状態の変化に応じて、ご家族へ相談し、かかりつけ医の変更、調整をする。スムーズな医療機関への受診に繋げていく。	日頃からの体調管理、状態の変化を職員間で共有し、異常発見時、必要に応じ、同法人内の看護師へ相談したり、スムーズな受診、入院へつなげていく。	6 ヶ月
3	40	食事の調理や準備を一緒にする機会が減ってきている。	できることだけでもいいので、入居者の方と一緒に調理や準備、片付けを一緒にしてもらう。	食事の調理や準備、片付けに関わりやすい環境づくり、声かけを行い、少しでもできることをやってもらえるよう、配慮をする。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。